

# 平成29年度当初予算案

## ぐんまの未来創生予算



平成29年2月7日(火)

群馬県

# 平成29年度群馬県当初予算(案)

総額 7,245億6,300万円 + 0.4%

平成28年度予算額(7,216億3,800万円)に対し、30億円の増

平成29年度は、総合計画、総合戦略の2年目であり、3つの基本目標の実現に向け、13の政策を着実に推進  
厳しい財政状況にあっても、人づくりをはじめとした未来への投資を着実に進め、群馬らしさを活かした豊かな社会の実現に向けた『ぐんまの未来創生予算』を編成

基本  
目標

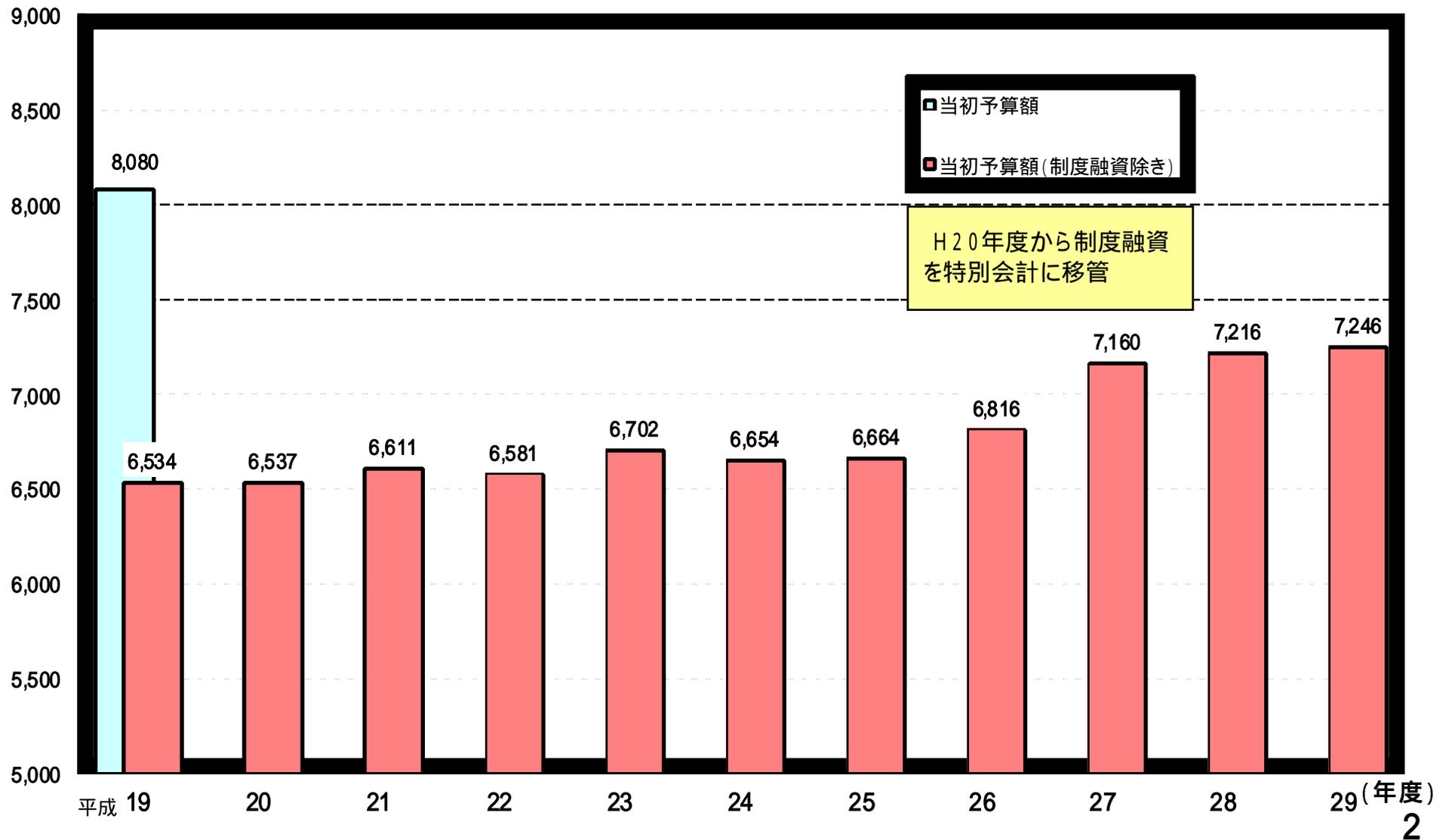
1 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

3 産業活力の向上・社会基盤づくり

# 当初予算額の推移

(億円)



# 主な財源の状況

	H27当初	H28当初	対前年度		H29当初	対前年度	
			増減額	増減率		増減額	増減率
県 税	2,360 億円	2,490 億円	+ 130 億円	+ 5.5 %	2,350 億円	140 億円	5.6 %
地方譲与税	352 億円	320 億円	32 億円	9.1 %	339 億円	+ 19 億円	+ 5.9 %
地方交付税	1,268 億円	1,256 億円	12 億円	0.9 %	1,150 億円	106 億円	8.4 %
県 債	938 億円	921 億円	17 億円	1.8 %	1,185 億円	+ 264 億円	+ 28.7 %
うち 臨時財政対策債	476 億円	395 億円	81 億円	17.0 %	460 億円	+ 65 億円	+ 16.5 %
うち 減収補てん債					156 億円	+ 156 億円	皆増
その他	462 億円	526 億円	+ 64 億円	+ 13.9 %	569 億円	+ 43 億円	+ 8.2 %
基金繰入金 (財調・減債)	168 億円	211 億円	+ 43 億円	+ 25.6 %	140 億円	71 億円	33.6 %

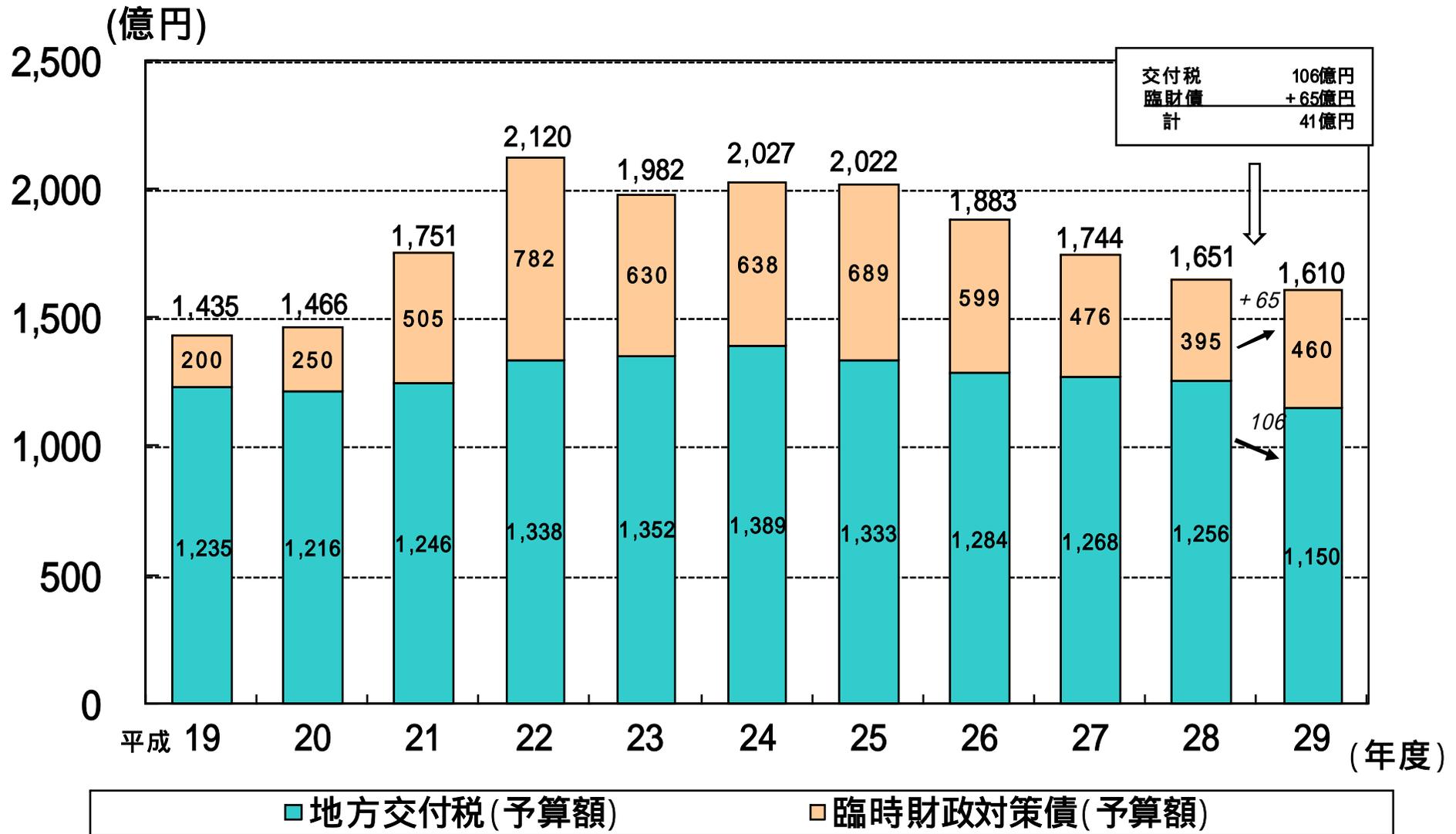
実質的な  
交付税  
41億円

県税収入の減に見合った地方交付税の増額が見込めないことから、その代替として減収補てん債を当初予算で計上。後年度償還費の75%が地方交付税で措置される。

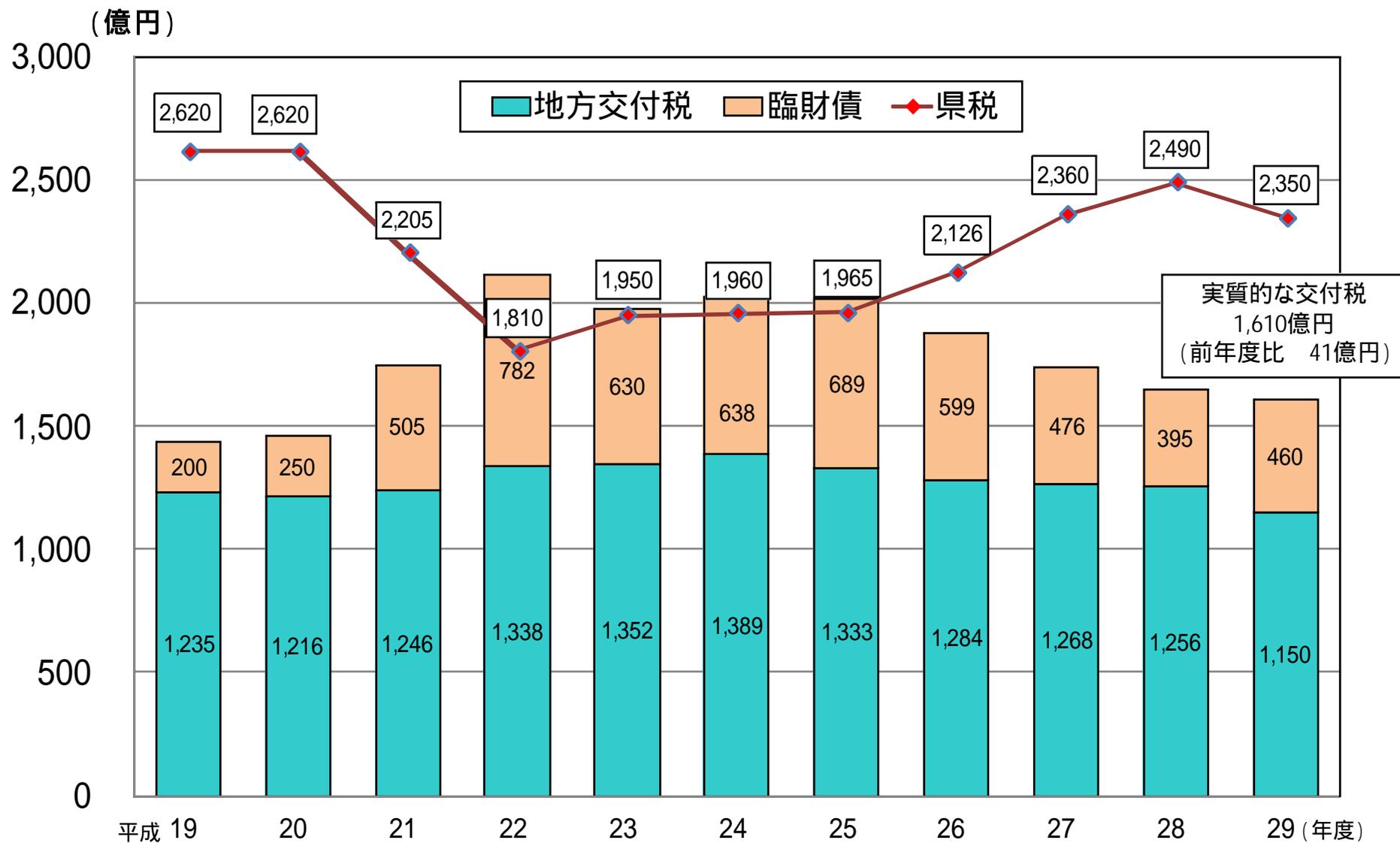
# 県税の推移



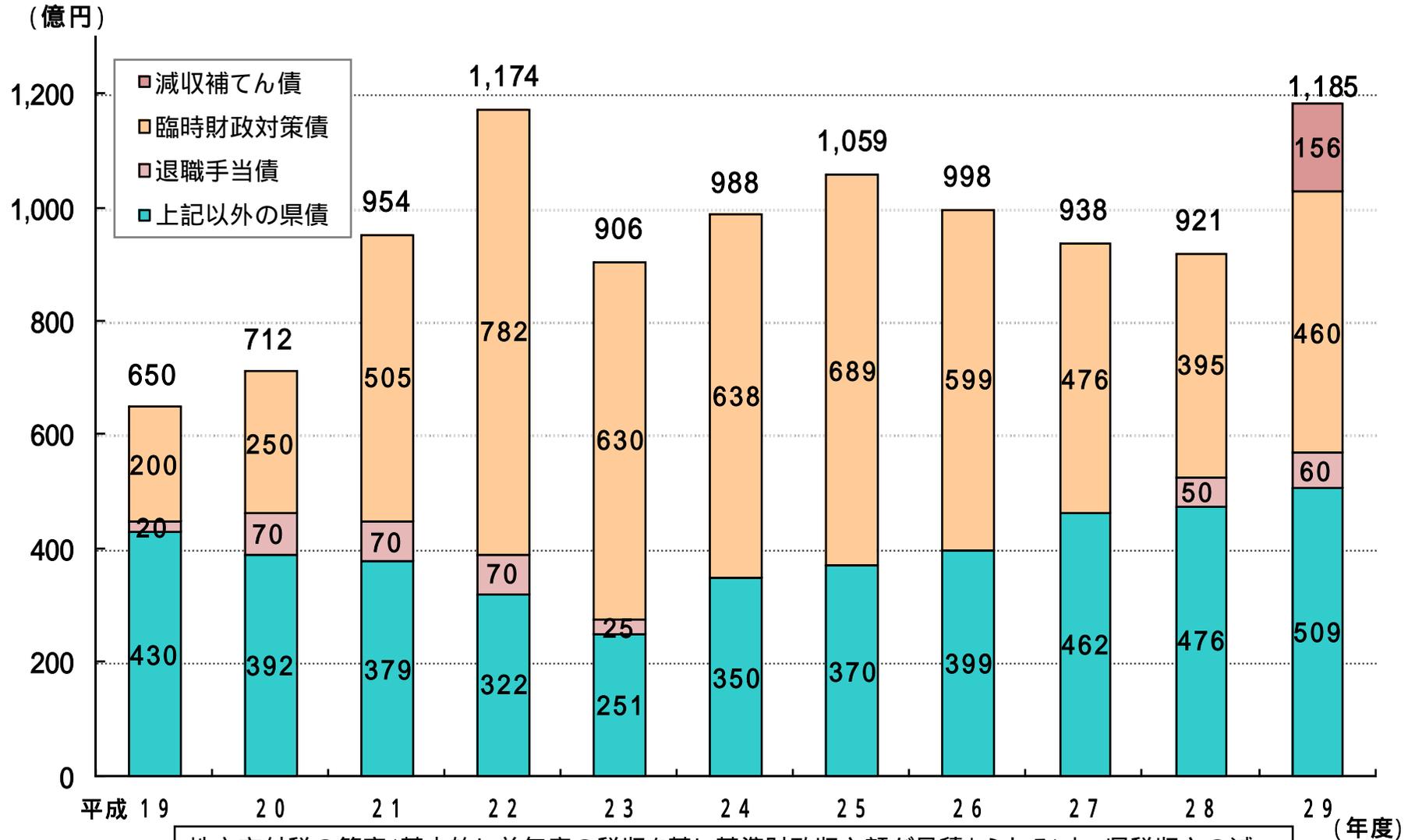
# 地方交付税等の推移



# 県税と地方交付税等の推移



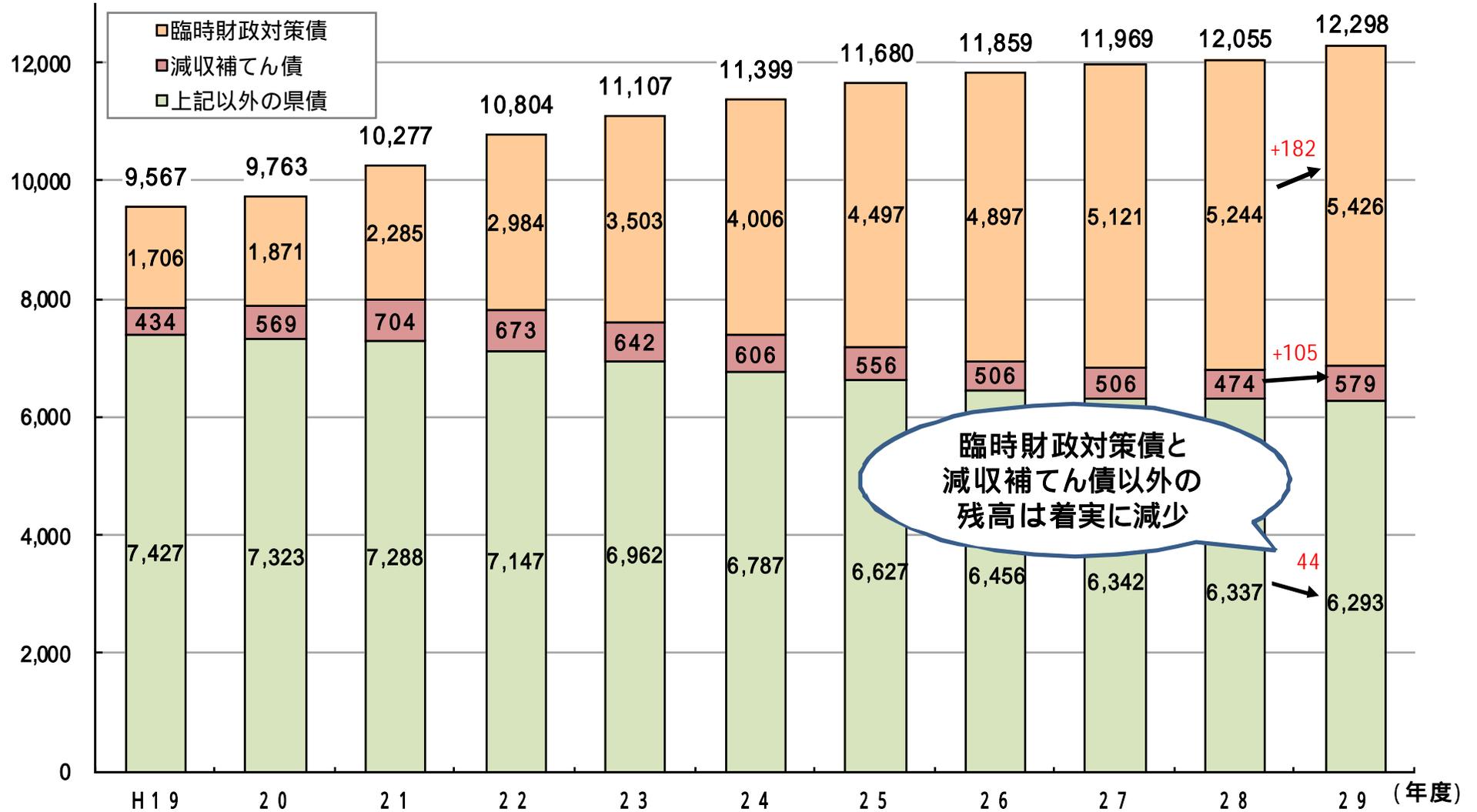
# 県債予算額の推移



地方交付税の算定(基本的に前年度の税収を基に基準財政収入額が見積られる)上、県税収入の減に見合った地方交付税の増額が見込めないことから、減収補てん債を当初予算で計上(156億円)。後年度償還費の75%が地方交付税で措置される。

# 県債残高の推移

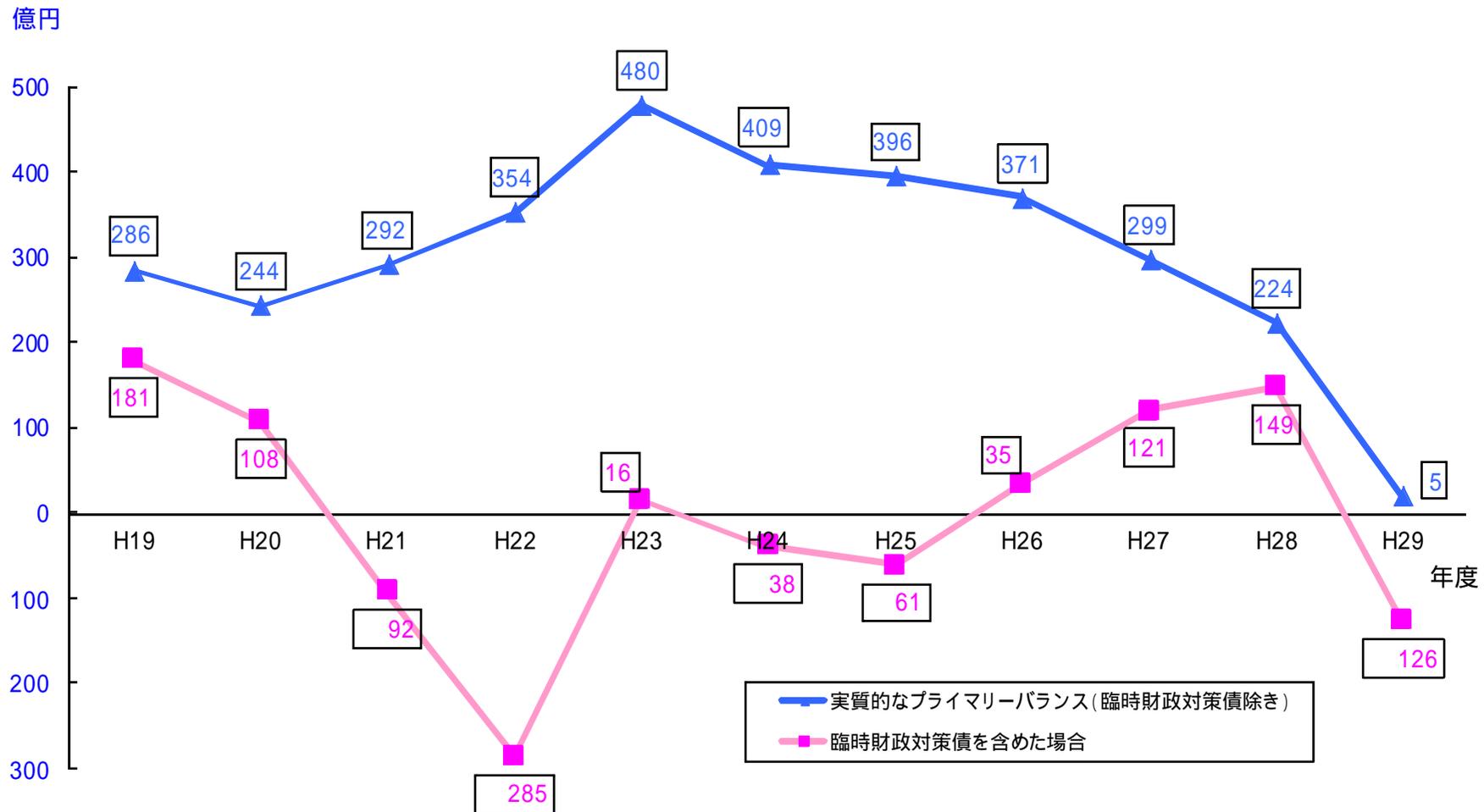
(億円)



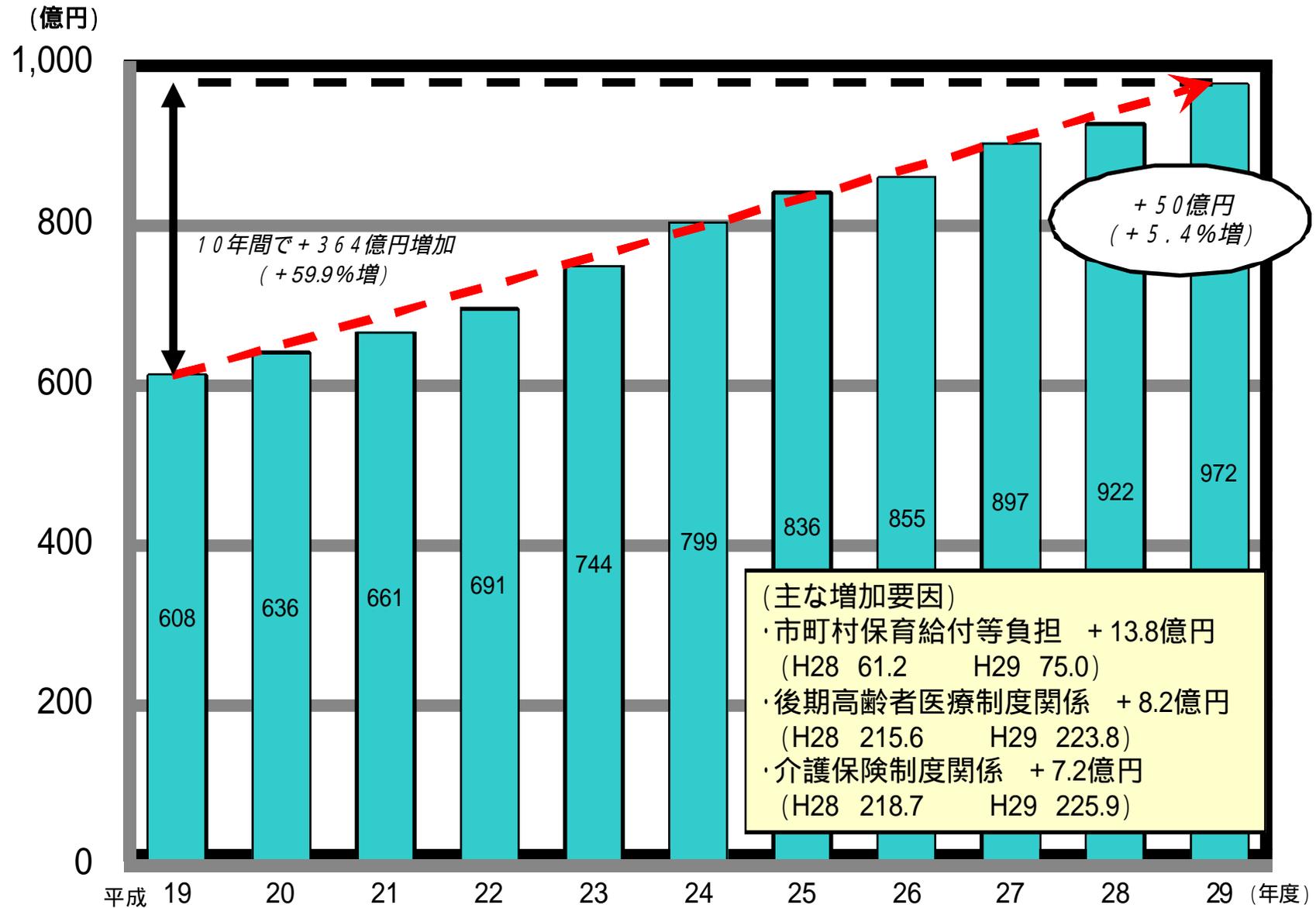
H27年度までは決算、H28年度は2月補正後、H29年度は当初予算ベース

# プライマリーバランス(当初予算ベース)

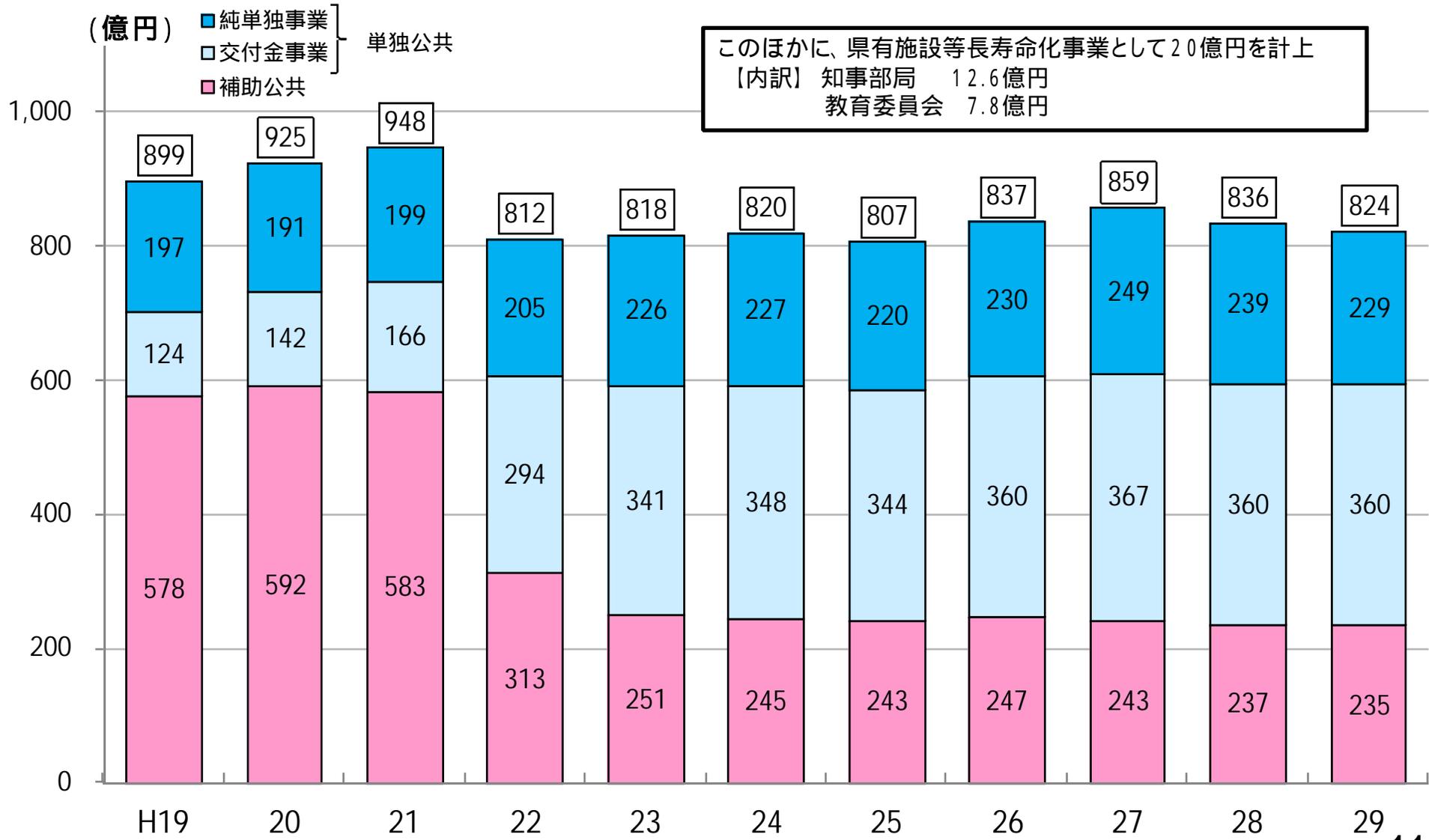
(歳入 - 県債) - (歳出 - 公債費)



# 主な社会保障関係経費の推移



# 当初予算における公共事業費の推移 (一般会計)



# 平成29年度当初予算の重点施策

## 1 次代を担う子どもたちのための施策の充実

本県の未来を支える子どもたちのための施策を充実。

- ・新たに、定時制・通信制高校へスクールカウンセラーを、小学校へ英語教育アドバイザー教員を配置する。
- ・様々な理由により学習機会に恵まれない子どもたちの学習支援を拡充するほか、子どもの居場所づくりの充実に取り組む。

### 主な事業

- ・(新規)定時制・通信制高校へのスクールカウンセラーの配置
- ・(新規)小学校への英語教育アドバイザー教員の配置
- ・(一部新規)子どもの生活・学習支援
- ・(新規)高校中退者訪問支援
- ・(一部新規)青少年自立・再学習支援
- ・(新規)子どもの居場所の充実(子ども食堂の立ち上げ支援等)
- ・新高校整備(富岡・甘楽、吾妻)

## 2 障害のある子どもたちの教育環境の整備

障害のある子どもたちが身近な地域で安心して教育を受けられる環境を整備。

- ・重複障害児の早期受入れと特別支援学校高等部未整備地域の解消に取り組む。
- ・沼田、館林の特別支援学校の整備を進めるほか、桐生市立特別支援学校を県立移管する。
- ・新たに、二葉・二葉高等特別支援学校へスクールバスを導入する。

### 主な事業

- ・伊勢崎特別支援学校での重複障害児童受入れ(太田高等特別支援学校及び伊勢崎高等特別支援学校でも平成30年4月から、重複障害のある生徒を受入れられるよう準備を進める。)
- ・沼田特別支援学校整備(藤岡、富岡、吾妻の各地域も含めて、平成30年4月から、生徒の受入れが開始できるよう準備を進める。)
- ・館林特別支援学校改築
- ・桐生市立特別支援学校の県立移管
- ・(新規)二葉・二葉高等特別支援学校スクールバス導入

# 平成29年度当初予算の重点施策

## 3 群馬の魅力を活かしたイメージアップと誘客促進

交流人口の増加につなげるため、県内の山々や温泉、東国文化や古墳など、群馬の優れた魅力を活かした取組を推進。

- ・「東国文化＝群馬」を県内外に発信し、定着を図る。
- ・上野三碑の「世界の記憶」への登録を推進し、価値を発信する。
- ・稜線トレイルの整備を進めるとともに、本県の山々の魅力をPRする。
- ・これらにより、本県のイメージアップを図りつつ、県域DMOと連携しながら、観光誘客に取り組む。

### 主な事業

- ・(一部新規) 東国文化周知
- ・(一部新規) 上野三碑世界記憶遺産登録推進・発信事業
- ・(新規) 歴史博物館グランドオープン
- ・古墳情報発信
- ・(一部新規) 稜線トレイル活用推進
- ・(新規) 県境稜線登山道再整備
- ・(拡充) 魅力ある観光地づくり推進(山や歴史を活かした観光誘客等)

## 4 群馬の強みを活かした仕事づくりと就労支援

群馬の強みを活かした仕事づくりを進め、雇用の場の確保につなげるほか、誰もが活躍できるように、就労支援に取り組む。

- ・拠点性を活かしたコンベンション整備を着実に進めて、若者や女性などの雇用の場を創出するほか、県内企業の関連産業への参入を支援する。
- ・若者や女性、高齢者や障害者など、誰もが活躍できる就労の支援に取り組む。

### 主な事業

- ・コンベンション施設整備推進
- ・コンベンション誘致推進
- ・(一部新規) コンベンション関連産業参入支援
- ・若者就職支援(ジョブカフェぐんま、Gターン全力応援)
- ・働く女性支援
- ・シニア就業支援センター運営(ジョブカフェぐんまへ一元化)
- ・(一部新規) 障害者雇用促進強化対策
- ・(新規) 精神障害者の就労移行支援の推進
- ・(一部新規) 企業誘致推進補助金

# 群馬の未来を創生するための主な体制整備

## 1. 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

子どもを安心して育てることができ、良好な親子関係の下で子どもが健やかに成長できる環境づくりのための体制整備

- **「児童相談所」の体制整備**（こども未来部）  
増加する児童虐待及び児童相談への対応の充実を図るため、中央児童相談所北部支所に「北部発達支援係」を設置

## 2. 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

医療と福祉が効果的に連携した、誰にも優しいぐんまづくりを進めるための体制整備

- **「地域包括ケア推進」の体制整備**（健康福祉部）  
地域包括ケアシステムの構築を更に進めるため、介護高齢課から認知症対策、地域支援事業を地域包括ケア推進室に移管し、「認知症・地域支援係」を設置

## 3. 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり

群馬の強み・魅力を活かし、県内の産業活力の向上と立地競争力を高める社会基盤づくりのための体制整備

- **「コンベンション推進」の体制整備**（企画部）  
県内の幅広い産業の活性化・雇用の場の創出を目的に、人・モノ・情報呼び込む拠点となるコンベンション施設を平成32年春開所に向けて整備するため、コンベンション推進課に「建築係」と「設備係」を設置し、体制を強化
- **「東国文化推進室」の設置**（生活文化スポーツ部）  
東国文化の価値や魅力の創造・ブランド化、上野三碑の世界的な価値の発信とともに、市町村、地域の方々、ボランティア等との連携・協力による東国文化の周知に一層取り組むため、文化振興課に「東国文化推進室」を設置
- **「上信自動車道建設事務所」の設置**（県土整備部）  
上信自動車道の整備を強力に進めるため、現在、中之条土木事務所が所管する建設事業を移管し、同事業に特化した「上信自動車道建設事務所」を設置
- **「産業団地整備推進」の体制整備**（企業局）  
西毛地域での新規産業団地造成着手や、県全体の地域バランスも考慮した産業団地の整備を進めるため、団地総合事務所（所在地：太田市）に「前橋支所」を設置

# 第15次群馬県総合計画

## 3つの基本目標

- 1 地域を支え、経済・社会活動を  
支える人づくり
- 2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり
- 3 恵まれた立地条件を活かした  
産業活力の向上・社会基盤づくり

# 1 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

## 群馬の未来を担う子ども・若者の育成

- ・私立学校教育振興費補助(65億1,526万円)
- ・尾瀬学校(8,724万円)
- ・富岡・甘楽地区新高校整備(11億6,070万円)
- ・吾妻地区新高校整備(3億5,854万円)
- ・県立高等学校等空調設備整備(4億3,263万円)
- ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー配置  
定時制・通信制高校にもスクールカウンセラーを配置(2億8,686万円)
- ・ぐんま少人数クラスプロジェクト(14億1,625万円)  
小学生の英語力向上を図るため、英語教育アドバイザー教員を新たに配置
- ・地域学校協働活動推進(2,892万円)  
学校・家庭・地域の連携による、子どもの居場所づくりの充実
- ・青少年自立・再学習支援(967万円)  
悩みを抱えている青少年のために、体験活動等を通じて立ち直りを支援
- ・子どもの生活・学習支援(1,652万円) など



ぐんま少人数クラスプロジェクトの授業風景

## 群馬の飛躍と地域の安心を支える職業人材の育成

- ・医師確保対策(3億5,251万円)  
群馬大学と「(仮称)地域医療研究・教育センター」設置を推進
- ・介護人材確保対策(1億2,410万円)
- ・保育人材確保対策(573万円) など

## 交流・移住・定着促進

- ・ぐんま暮らし支援(4,139万円)
- ・地域おこし協力隊の活動・定住支援(726万円)
- ・若者就職支援(1億4,311万円)  
Gターン全力応援、ジョブカフェぐんま運営
- ・(新)空き家対策(338万円) など



Gターンカフェ

## 家族の理想実現

- ・子ども・子育て支援事業費(108億9,957万円)
- ・子ども医療費補助(40億6,051万円)
- ・第3子以降3歳未満児保育料免除  
(3億4,725万円)
- ・結婚応援(7,408万円)  
結婚応援パスポート協賛企業の新規開拓や  
民間非営利団体等と連携した取組を展開
- ・働く女性支援(1,589万円) など

## 多様な人材の活躍応援

- ・女性の活躍推進(175万円)
- ・手話施策の推進(302万円)
- ・障害者雇用促進強化対策(4,294万円)
- ・シニア就業支援センター運営(1,329万円)
- ・離職者等再就職訓練(4億650万円)
- ・伊勢崎特別支援学校での重複障害児の受入れ  
(206万円)
- ・沼田特別支援学校整備(3億2,889万円)
- ・館林特別支援学校改築(7億6,921万円) など

## 2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

### 安全な暮らし実現

#### ・県有施設、学校施設長寿命化推進(20億4,000万円)

県有施設・県立学校の老朽化状況を踏まえ、計画的に長寿命化工事を実施

#### ・災害に強い県土を築く防災・減災対策(125億4,715万円)

局地的豪雨や台風による災害を未然に防止するとともに、被害の軽減を図るため、道路防災や治水対策、土砂災害対策を実施

#### ・振り込め詐欺等根絶対策(1,590万円)

#### ・木造住宅耐震改修支援(990万円)

建物の部分的な耐震改修工事や耐震シェルター設置などに補助対象を拡充

#### ・警察官の増員(+16人)(3,424万円)

ストーカーやDV、特殊詐欺など女性や高齢者が被害に遭う犯罪や国際テロ防止等への対応強化のため、警察官を増員

#### ・警察署・交番整備(5,988万円)

高崎北警察署(仮称)のH33年度末完成に向けて必要な地質調査、並びにJR前橋駅北口の再開発に伴う、前橋駅前交番の新築整備を実施

#### ・(新)防災情報通信ネットワークシステム更新整備基本設計

(6,048万円)

老朽化した通信設備について、新たな無線基準の導入を契機に、計画的に更新

#### ・交通安全施設整備(16億4,644万円)

など



## 医療・福祉連携による優しいぐんま推進

・前橋赤十字病院建設事業費等補助(12億8,024万円)

・(新)転院搬送救急車配備(9,000万円)

病院救急車を整備し、転院搬送における救急車の適正利用を推進

・認知症施策の推進(4,565万円)

若年性認知症支援コーディネーターを設置するほか、介護離職防止に向けた企業向けセミナーを開催

・地域密着型介護拠点等整備・開設準備経費補助

(26億4,111万円)

・老人福祉施設整備費補助(7億7,326万円)

・自殺対策の推進(1,770万円)

若年層、ハイリスク者への支援を一層推進するため、自殺対策推進センターを設置

・福祉医療費補助(83億3,800万円)

・児童相談所の体制強化(593万円)

・児童養護施設等整備費補助(2,380万円) など



転院搬送救急車



## 優れた群馬の環境の保全・継承

- ・芳ヶ平湿地群ワイズユース促進(3,901万円)  
ラムサール条約湿地に登録された「芳ヶ平湿地群」へのアクセス歩道の再整備と、ボランティアガイドの育成、学習プログラムの開発を実施
- ・ぐんま緑の県民基金事業(8億6,124万円)
- ・有害鳥獣対策(6億2,534万円)
- ・汚水処理施設整備費補助(6億5,917万円) など



県民基金事業(困難地整備支援)



消防団(ポンプ操法訓練)

## 地域住民がともに助け合う「地域力」強化

- ・地域調整費(3億6,300万円)  
地域の実情に応じた地域活性化の取組を支援
- ・地域おこし協力隊の活動・定住支援(726万円)(再掲)
- ・(新)ぐんま消防団応援の店(79万円) など

# 3 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり

## 群馬の未来を見据えた経済・雇用戦略の展開

- ・コンベンション施設整備推進(13億4,003万円)  
用地の整理、埋蔵文化財調査及び実施設計を行い、工事に着手
- ・コンベンション誘致推進(2,875万円)
- ・コンベンション関連産業参入支援(1,800万円)  
コンベンション需要の獲得に向け、関連事業者を支援
- ・農畜産物等輸出促進(4,576万円)
- ・企業誘致推進補助金(7億600万円)
- ・医療・ヘルスケア産業振興(1,060万円)
- ・ベトナムとの経済交流(337万円)  
ベトナム政府と締結した覚書に基づき、県内企業の進出・販路開拓を支援
- ・海外セールスプロモーション(3,554万円)  
県域DMOにインバウンド人材を設置し、海外からの誘客を促進
- ・産業団地等整備(15億7,300万円)

など



コンベンション施設 外観イメージ図



ベトナム計画投資副大臣と覚書締結

## 群馬の産業の強みを活かす戦略



貯木場でのチップ加工



統一ロゴマーク

- ・林業・木材産業構造改革(1億1,179万円)  
高性能林業機械の導入やバイオマス関連施設の整備を促進
- ・(新)県産材製品販路拡大対策(459万円)
- ・ぐんまの木で家づくり支援(3億円)
- ・担い手への農地集積・集約化(3億7,228万円)
- ・「野菜王国・ぐんま」総合対策(1億4,700万円)
- ・野菜価格安定(野菜生産出荷安定資金造成費補助)  
(1億8,336万円)
- ・蚕糸業継承対策(6,879万円)  
多様な担い手の確保・育成を図るとともに、県産繭・生糸の流通を促進
- ・県産農畜産物ブランド力強化対策(4,312万円)
- ・(新)浅間家畜育成牧場畜産施設及び草地整備(1,363万円)
- ・小規模農村整備(6億6,000万円)
- ・< 中小企業振興資金特別会計 > 制度融資(498億3,423万円)
- ・ぐんま新技術・新製品開発推進補助(6,100万円)
- ・千客万来支援(1億4,000万円)
- ・魅力ある観光地づくり推進(1億2,180万円)
- ・ググっとぐんま観光キャンペーン(1,630万円)

など

## 豊かな文化・魅力を活かしたイメージアップ

- ・女性の視点を活かしたイメージアップ推進(812万円)(再掲)
- ・「ぐんまちゃん」を活用したぐんまのイメージアップ(2,969万円)
- ・(新)「世界遺産センター(仮称)」整備(1,343万円)  
県世界遺産構成4資産と日本遺産・ぐんま絹遺産を含めた情報発信・  
解説・調査研究の拠点整備に向けた内容検討・設計を実施。
- ・上野三碑世界記憶遺産登録推進・発信事業(1,164万円)
- ・(新)歴史博物館グランドオープン(4,824万円)
- ・東国文化周知(2,188万円)  
所在市町村と連携し、地域の子どもと大人が一体となって、  
古墳・遺跡の価値を再発見できるような体験型プログラムを新たに提供。
- ・金井東裏遺跡出土甲着裝人骨等調査(1,031万円)
- ・古墳情報発信(777万円)
- ・群馬交響楽団支援(2億7,999万円)
- ・山と歴史のぐんま観光事業(2,603万円)
- ・稜線トレイル活用推進(3,460万円)
- ・(新)尾瀬地区及び県立公園おもてなしトイレ整備(6,624万円)
- ・(新)第72回国民体育大会関東ブロック大会開催(6,662万円)
- ・ぐんまマラソン開催(5,005万円) など



稜線トレイル活用推進(平標山)



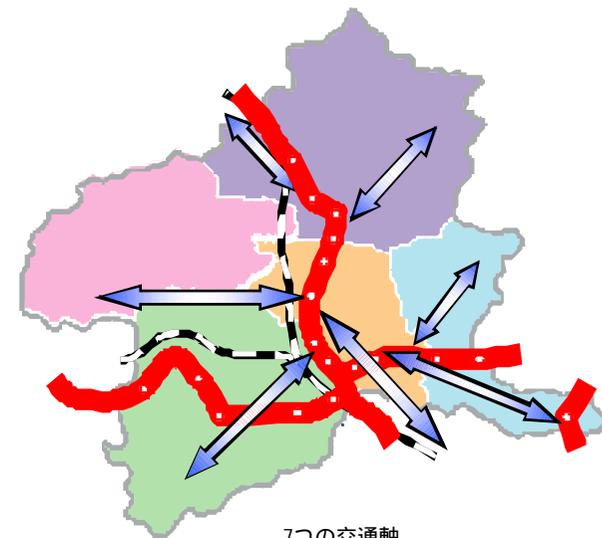
古墳情報発信(綿貫観音山古墳)

## 群馬の未来を支える社会基盤づくり

- ・公共事業費予算 824億円  
(H28比 12億円、1.4%)
  - ・補助 235億2,800万円 (H28当初比 0.6%)
  - ・単独 588億3,600万円 (H28当初比 1.8%)
- ・「7つの交通軸」の整備・強化(287億1,420万円)  
県内の高速交通網の効果を最大限に活かすため、高速道路へのアクセス道路となる「7つの交通軸」を重点的に整備
- ・(新)群馬ヘリポート施設整備(3億2,300万円)  
滑走路やエプロン等の改修工事等を実施
- ・ステーション整備(617万円)
- ・交通施設バリアフリー化推進(4,797万円)
- ・ハッ場ダム関連(91億2,020万円) など



東毛広域幹線道路(玉村・伊勢崎バイパス)



7つの交通軸